

平成29年度 3月定例会会議録

- ◎招集年月日 平成30年3月13日（火）
- ◎開催日時 平成30年3月23日（金） 午後3時～午後5時20分
- ◎場所 伊那市役所 庁議室
- ◎出席委員 松田教育委員長、宮脇職務代理者、田畑教育委員、原田教育委員
- ◎欠席委員 なし
- ◎出席職員 北原教育長、大住教育次長、吉田学校教育課長、小松生涯学習課長、捧文化振興課長、宮下スポーツ振興課長、中村指導主事、唐木指導主事、山崎教育総務係長

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 委員のひと言

- ・田畑委員より「駒ヶ根市民劇団」での体験について発表

4 会議事項

第1 教育長報告

- ・資料に基づき教育長報告
- ・委員長から、高遠高校の卒業式に行ったところ、生徒の歌声や廊下の絵画に学級・学校の実力や生活の営みが窺われた。ステージの前が埋まるほどの生徒が卒業生に向けて歌ったが、一人ひとりの生徒に寄り添った学校運営をされた新井校長先生にも向けられていたのではないかという思いで聞いた。
また、西春近南小学校では、式の最後の歌を歌う場面で、PTAのみなさんが歌うところがあり、全員参加の感動的な卒業式に参加させていただいた。卒業式は年度最後の子どもたちと先生方が作り出す授業であり、こういう卒業式は子どもたちの心の中に永久に残ると改めて感じたとの感想が述べられた。

第2 議案

議案第1号 指導主事の任命について

- ・資料に基づき学校教育課長説明
- ・委員長が諮ったところ、全会一致で承認された。

議案第2号 伊那市創造館長、伊那市生涯学習センター館長、伊那市立伊那図書館長、伊那市立高遠町図書館長、信州高遠美術館長、伊那市立高遠町歴史博物館長及び伊那市民俗資料館長の任命について

- ・資料に基づき教育次長説明
- ・委員長が諮ったところ、全会一致で承認された。

議案第3号 公民館長の任命について

- ・資料に基づき生涯学習課長説明
- ・委員長が諮ったところ、全会一致で承認された。

議案第4号 公民館運営審議会委員の委嘱について

- ・資料に基づき生涯学習課長説明
- ・委員長から、運営審議会委員は具体的にどのような活動をしているか質問があり、生涯学習課長より、年に3回ほど、公民館の運営の審査・検討・相談にあたっており、館長人事の検討も行っているほか、各種事業に参加していただいております、学校長あるいは社会教育委員などが構成員となっているとの説明があった。
- ・委員長が諮ったところ、全会一致で承認された。

議案第5号 社会教育委員の委嘱について

- ・資料に基づき生涯学習課長説明
- ・委員長から、社会教育委員はどのように候補者選出されるのか質問があり、生涯学習課長より、公民館長に推薦依頼している。また、公民館運営審議会に入っており、そうした関係から推薦されるとの説明があった。
- ・委員長が諮ったところ、全会一致で承認された。

議案第6号 伊那市スポーツ推進委員の委嘱について

- ・資料に基づきスポーツ推進課長説明
- ・委員長から、どのように候補者選出されるのか質問があり、スポーツ推進課長より、こちらも公民館に推薦依頼しているとの説明があった。
- ・委員長が諮ったところ、全会一致で承認された。

議案第7号 伊那市教育委員会事務局職員の任免について

- ・資料に基づき学校教育課長説明
- ・委員長が諮ったところ、全会一致で承認された。

議案第8号 伊那市立小中学校管理規則の一部改正について

- ・資料に基づき学校教育課長説明
- ・委員長から、具体的にどのように運用されるのか質問があり、学校教育課長より、保護者の勤務する企業、地域が平日に休業日を設けるような状況になった場合、

学校も同日を休業日として位置付けていくものであり、具体的に休業日を設ける段階にはないとの説明があった。

- ・委員長から、運用していくためにはすり合わせが必要になるとの発言があり、学校教育課長より、現時点で活用するものではないが、国の規定に合わせて整備するもので、今後の状況に対応できるよう意見をいただきたいとの説明があった。
- ・委員長が諮ったところ、全会一致で承認された。

議案第9号 伊那市立中学校における部活動指導員設置要綱の制定について

- ・資料に基づき学校教育課長説明
- ・職務代理者から、全国大会などに出場するとき、指導員が引率できるのか質問があり、学校教育課長より、引率できるとの説明があった。
- ・委員長より、現時点での見通しはどうか質問があり、学校教育課長より、学校によって人数は違うが、県に対し13名の任用を要望しているとの説明があった。
- ・委員長から、各中学校の雇用見込みについて質問があり、学校教育課長より、各校と相談するなかで、必要な人数、指導員を依頼できる可能性があるかについて相談しながら進めてきているとの説明があった。
- ・委員長から、学校の多忙化解消のための目玉事業であり、大事に取り扱って欲しいとの発言があった。
- ・委員長が諮ったところ、全会一致で承認された。

第3 協議事項

(1) 旧陸軍伊那飛行場の保存活用方針について

- ・資料に基づき生涯学習課長説明
- ・委員長から、移転を前提にして保存するという方針について、委員の意見を求めた。
- ・職務代理者より、現場で残せないなら移転もやむを得ないとの意見があった。
- ・委員から、移転する場合、遺構全部なのか質問があり、生涯学習課長より、用地買収範囲や残地がわからない状況で、現時点でどこへどう動かせるのかわからない、関係のある場所、見学可能な場所への移設が必要となるが、記録保存と移転保存の方針を策定するものであるとの説明があった。
- ・教育次長より、長野県の太田副知事にも視察していただき、戦争遺産が少ないことから重要に考えていただいている。また、道路事業側としては、遺構が本当に大切なものなのか、教育委員会、市の意思表示を希望している。遺構の重要度が移転補償にも関わってくるとの説明があった。
- ・委員長から、郷土学習読本「わたしたちのふるさと」に遺構の記載はあるか質問があり、指導主事より掲載されているとの説明があった。
- ・委員長から、教材として読本の中に位置付けられていることは大きな意味がある。飛行場跡地は、内陸部の平らな場所にあり、それが戦争に関わったものであることは非常に意味が深いため、教育委員会の総意として是非残してもらいたい。できるだけ現状に近いところへ、できるだけ現状の形で残してほしいと考えるとの

発言があった。

- ・職務代理者から、用地買収段階で、例えば横に公園用地を確保するというような要望事項を盛り込むことはできないか質問があり、生涯学習課長より、そうしたことを前提に交渉していくために、遺構の位置づけを教育委員会に作ってほしいということ。移設費用を積算する際、運搬の仕方、どこまで運ぶかが問題になってくる。移設費用を市が持つのか、県が持つのか、財源の確保にも関わってくるとの説明があった。
- ・また、文化財審議委員会でも了解を得ており、今後は、道路建設部署と調整しながら、やっていきたいとの説明があった。
- ・職務代理者から、教育委員会ができるだけ近いところに残してほしいと要望すれば、その方向での話し合いができるということか確認があり、生涯学習課長より、要望をつけて提出したいとの説明があった。
- ・委員長から、読本に取り上げられ、教育委員会としては重く受け止めているということか確認があり、教育長より、遺跡の保存と道路建設の考え方との両面があり、基本的に戦争遺跡として重要であり、失われつつあるものとして、形を残すということを教育委員会として提案する形でよいのではないかと発言があった。
- ・委員長が諮ったところ、記録保存と近接地への移転保存の方針で了承された。
- ・関連して、委員長から、個人所有の弾薬庫は、元々は誰のものだったのか質問があり、生涯学習課長より、おそらく日本軍のものだったと思われるとの説明があった。
- ・委員長から、個人所有になった経過について質問があり、生涯学習課長より、敗戦後、アメリカ軍が飛行場を取り壊す際、国が収用していた土地を民間へ返還したのではないかと、その土地に付随して返還されたのではないかと説明があった。
- ・委員長から、民間所有のものではあるが、戦争の遺産として残してほしいとの発言があり、生涯学習課長より、所有者の理解があり、今のところ大切に保存していただいているとの説明があった。

第4 報告事項

(1) 市議会3月定例会一般質問について

- ・資料に基づき教育次長説明
- ・委員長から、市議会の一般質問で、かつては、「教育委員長へ質問する」「教育長に質問する」と答弁者を指名されていたが、教育委員会は5人の教育委員の合議によって運営されているのであり、個人ではなく委員会に質問する形式に変更してもらった。教育委員会に対する質問には、教育委員長、教育長、教育次長の3人で割振りができ、やり易くありがたかった。伊那市の教育委員会の伝統として、教育委員会に対して質問する、我々5人が責任を負う、そうしたことが大事ではないかと発言があった。

(2) 校長着任告示、校長着任式及び入学式について

- ・資料に基づき学校教育課長説明
(質疑なし)

(3) 伊那市学校給食アレルギー対応マニュアルについて

- ・資料に基づき学校教育課長説明
- ・委員長から、完全除去、あるいは完全解除は大事な考え方で、幅を持たせることが判断を誤る原因となる。「完全」が一番重要であるとの発言があった。
- ・また、今年度アレルギーの事故はあったか質問があり、学校教育課長より、アナフィラキシーショックでエピペン使用した事例、救急車搬送された事例もあり、徹底して安全に配慮していく必要があるとの説明があった。

(4) 防災コミュニティセンター条例（案）及び施行規則（案）について

- ・資料に基づき生涯学習課長説明
- ・職務代理者から、災害対策活動の拠点施設としての利用予定について質問があり、生涯学習課長より、市役所が使えない場合、防災コミュニティセンターが天竜川西の拠点になる。いざという時のための施設であり、利用は災害の規模によるとの説明があった。
- ・職務代理者から、例えば、2年に1度くらいなのか、大規模な災害だとすれば20年に1度くらいなのか質問があり、生涯学習課長より、危機管理課所管で建設されたが、基本的にはよほどのことがない限り、防災コミュニティセンターを拠点とすることはないと思われるとの説明があった。
- ・教育次長より、災害の規模に応じた使用もあるが、危機管理課では、防災コミュニティセンターの施設目的に沿った防災教育を年数回は行っていきたいと考えているとの説明があった。

(5) 旧中村家住宅用途変更工事について

- ・資料に基づき生涯学習課長説明
- ・委員長から、在来種の浦産そばを提供するそば処になればいいとの発言があり、生涯学習課長より、入れ替わり業者が入ってそばを打てる、あるいは別の料理を提供できるよう、2系統の広い厨房を設けるなど充実した内容になっているとの説明があった。

(6) 伊那市体育施設条例の一部改正について

- ・資料に基づきスポーツ振興課課長説明
- ・委員長から、マレットゴルフの競技人口は減っているか質問があり、スポーツ振興課長より、片倉については、地元で管理ができない。勝間のマレットゴルフ場も地元では管理できないので返却したいとの意見をもらっている。競技人口の減少が原因のひとつだとの説明があった。

(7) 防災コミュニティセンター開館式について

- ・資料に基づき生涯学習課長説明
(質疑なし)

(8) 平成30年度学童クラブについて

- ・資料に基づき生涯学習課長説明
- ・委員長から、伊那東小学校の方が児童数が多いのに、伊那小学校の方が登録児童数が多いのはなぜか質問があり、生涯学習課長より、登録は家庭状況によるもので、児童数の多い少ないに関係なく、商店を営んでいるなどの理由があると思われるとの説明があった。

(9) 韮崎市文化交流について

(10) 伊那市よりよい教育環境推進協議会学区担当について

- ・資料に基づき生涯学習課長説明
- ・原田委員、田畑委員が所用のため欠席することが報告された。

(11) 文化施設企画展・特別展について

- ・資料に基づき文化振興課長説明
(質疑なし)

(12) 春の高校伊那駅伝について

- ・資料に基づきスポーツ振興課長説明
- ・委員長から、スポーツ振興課長があらゆるところに気を配り、無事の運営に努めたことに対し、感謝と慰労のことばがかけられた。

(13) 共催・後援について

- ・資料に基づき学校教育課長説明
(質疑なし)

5 その他(教育次長)

(1) 4月の日程について

(2) 5月の主な日程について

- ・臨時教育委員会 5月17日(水)午後2時 庁議室
- ・定例教育委員会 5月29日(火)午後3時 庁議室
- ・教育委員会歓送迎会 5月29日(火)午後6時30分

6 閉 会